土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

ボーリング名	Bor-4	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 29.4477"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 7月10日～ 令和2年 7月10日	東経	132° 30' 29.0094"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 98.89m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：東邦BG3-C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	98.69	0.20		有機質砂質土		濃暗灰			細～中粒の砂質土。未分解の腐植物が混じる。	7/10 無し
1	97.49	1.40		礫混り砂質土		暗灰 暗褐	rd3		細～中粒の砂・砂質土。φ5～20mmの角礫・亜角礫が混じる。所々、有機質な砂質土を挟む。	
2				強風化花崗岩		淡褐			中～粗粒のマサ状又はφ5～30mmの礫片状に強風化している。岩石組織は残すものの、カリ長石や角閃石の細粒化が目立ち、一部は粘土化している。	
3	95.89	3.00								
4				風化花崗岩		淡褐			軟岩Ⅰ相当の風化花崗岩。深度4.00mまで、粗粒のマサ状又はφ5～10mmの風化した礫片状。全体にカリ長石、角閃石の細粒化が進む。深度4.00m以深、厚さ4～7cmの軟質な岩片又はφ5～20mmの礫片状。岩片はハンマーの中打で礫片状に崩れる。	
5	93.89	5.00								
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
11	1.15	2	3	6	11 / 300		
	1.45						
45	2.15	11	15	19	45 / 300		
	2.45						
50以上	3.00	25	25 / 50		50 / 150	150	
	3.15						
50以上	4.00	50			50 / 40	40	
	4.04	40					
50以上	5.00	50			50 / 30	30	
	5.03	30					

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15	P-1	⊖		7/10
1.45				
2.15	P-2	⊖		
2.45				
3.00	P-3	⊖		
3.15				
4.00	P-4	⊖		
4.04				
5.00	P-5	⊖		
5.03				